

ザ・ライフ

生活情報
かめゆら版

3/2 第33号
(木) 発行：ピーエスポート
印刷：あかほり印刷所
印刷日：今日のあけ
電話：ヒロキヤのむかひ
〒107 清水橋 107
電話：55-107

< 相談 >

建物の一部が地震で壊れた。工費は約100万円かかる。工費は誰が負担するべきか。また、壊れた部分の修繕は誰が負担するべきか。また、壊れた部分の修繕は誰が負担するべきか。

< 回答 >

建物の一部が地震で壊れた。工費は約100万円かかる。工費は誰が負担するべきか。また、壊れた部分の修繕は誰が負担するべきか。また、壊れた部分の修繕は誰が負担するべきか。

法律相談

弁護士 清水 勉

<p>都市計画案等の公開 御曹地区、新長田駅周辺地区等の土地区画整理市街地再開発事業および道路・公園等の都市計画案を、一般に公開します。 (場所：パークビル2階) ・サンポートホール2階 中央区浜辺通4-1-32 貿易センタービル北隣) ・2月28日～3月13日の毎日午前10時～午後6時(土・日も公開です) (向)神戸市役所対策本部 まちづくり区域担当 078-2422131</p>	<p>▼自転車屋再商店 自転車パンク修理サロニオとしてきたシゲジヤードサイクルが再開店 時間/9時30分～17時 場所/神楽町3丁目4番9号・0175 (薄池水の修理は終了)</p>	<p>▼緊急通知 来た来た 3月14日曜日の午後4時より、魚野栄公園に於いて、ロックバンドのソウル・フラワー・ユニオンが、特別に民謡演奏をします。無料ですのでお気軽にお越し下さい。</p>
---	---	--

<p>がんばれ神戸！元氣村！ライブ ひなまつり in 長田 ～いっしょに感じてほしいね～ 他、紙芝居・ビデオ上映・あらび 甘酒・わにあめ・ポップコーン 3月3日(金) 正午 公園園下 場所：長田区取原(徒歩1分) 園口(1分) 問合せ：神戸元氣村 0842-2070</p>	<p>もちもち大会の訂正 券売場で紹介した子供企画のもちもち大会の場所が変更になりました。 4番町市住24号横かみ26号棟に変更、なお日時に変更はありません。</p>
---	---

<p>《プロラム》 13時 14時 田中平吉 G・E・SPECIAL (SPECIAL KOBE UNIT) 杉山清樹 内田勲 増田俊</p>	<p>▼迷い犬・猫探ししても可 マ全体的に白の毛長、耳に茶色の模様がある、種大のオスを探しています。中型で人懐っこい、連絡は6番町6の松本小夜子まで。 0575-8921 0575-9021 マ茶色で9才位のメス犬ミニコリヒ、7才オオ位のシヤム猫オス(5歳がみ)を、脱走中3日目の福池さんが探しています。 091-8880 (武知毛)</p>	<p>▼コインランドリー コインランドリーハッピー 金平町1-5-3 6時30分～23時 コインランドリー未古 古田町2-31-1 6時～2時(深夜) 2件共乾燥機も使えます。</p>
---	---	--

ダイアリーズ

生活情報
かゆら版

3/3第34号
発行：ピースポ
印刷：おがほ志協協賛印刷所
発行所：おがほ志協協賛印刷所
発行所：おがほ志協協賛印刷所
発行所：おがほ志協協賛印刷所

本日はよい活動開始
長田復興は「パワフル」
地元住民の「パワフル」
これからの「パワフル」
被災地の住民自身の手
で、長田の生活を取り戻
そう！その手始めとして、
三谷奥さんり地元住民
たちが呼びかけ人となっ
て発足した「これからの
会」の第1回の長田と
志を語る会」の第1回
会合が、今日3月3日午
後1時からピースポ
本部で開かれる。

道について考える。
①住民の声をまめ細かく
収集
その結果、地域住民の
声を生かしては町づくりへ
と向いかけていく。
②地域住民の思いのスペ
ースを確保
事務局が設置されてい
るピースポ本部の1
階を「ピースポスペース」と
して活用、各種イベントな
どを企画し、被災地の中
でのオアシス的な場所と
していく。
③3つが考えられている。
共長田の町づくりを！
町は住む人ひとりと
りが集まってできるもの。
その住民の声が反映して
こそ、生き花町づくりが
できるはず。
これからの長田は、地
元の人々の結集からスタ
ートする。まず地元のパ
ワーティブの思いの長い活
動を志する時期、ともに
考え、ともに行動を。
(松本)
連絡先
0303000448
(三谷)

西神戸センター街

商店街復興MAP

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80

大正筋
二葉34商店街

3月2日現在調査

かみが出たら、営業時間等が
変更になることがあります。
ご了承ください。

続・防塵マスク

の勧め

黄色い街

神戸

※路島へ行く。海上から眺めると、須磨港を中心に、東側は赤を離れるにつれて街が黄色の粉塵で見えなくなる。西側は薄茶色で、街がぼけていくようだ。

淡路島の透明な空と粉塵に包まれた神戸の街、その対比的な光景に私は

街復興へ

ある自治のこころみ

第9回

思い出話にひたるのは早い。と前回書いた。もっと激しい言い方をすれば、私たちはポラントニア自慢をするのをちめた方がよい。

ストップホルムから来たハン登外人ケネス・ハゴースのように、ポラントニアの活動の歴史を記録することは、次の災

燃然とした。

長田に来て一ヶ月が過ぎようとしているが、みんなに黄色い粉塵の下で生活しているとは苦もみしなかつた。地元の人達はこの事実を果して知っているのだろうか。

健康管理のために、今マスクは、強制的である。不可欠なものなのだ。あの粉塵を見て以来、私は、マスクをさきうんと着用している。

(宮志)

求人情報

▼土木工事ラジ運転手
正社員・アルバイト(短期も可)日給は1万2千円。経験者は優遇しませ。コンボイも同時募集。宗重商店

0308423102
(受付6時~23時)

お風呂開放!

お風呂を一般の方に無料開放します。小マな湯無。仲良く入ろう! 時間/何時? 何時? 場所/御殿通り5-15 ビースポート本部 0577-0009

炊きだし情報

▼窪山のスジコロッケ
5/6日11時30分より
六宮町4丁目窪山精肉店
川内町1丁目1食遊館2F
2F各所同時で一入3ヶまで(各100個)

震災犠牲者の追悼

5日12時より九倉小にて主催/なまよし追
浄土真宗本願寺派、信行寺にて、震災犠牲者追悼並びに蒲中松治聖が叙り行われます。
0307202621
須磨区政町1-2-3

手帳さ

探してまわ!

区役所西側の「アハマアヘア・ムスリム」の炊き出しテント前で、モスクリーのダウンコートと同違えて持っていたかた方、良かったらそのまま着て下さい。

ただし、ポケットの中の手帳は返して下さい。店が全壊して、連絡先が分からず困っています。金田ますみ
長田天神町5-13-11
0641-5048

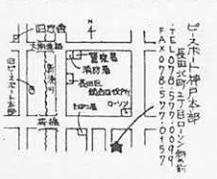
お祭り

本日再南!!

4日より営業再開です。子供・お年寄り・ポラントニアに限り、4日の引無料。一般の方も、限定メニューで営業します。4日の引/12時? 何時? 5日から/何時? 何時? 16時? 21時? 日曜定休
0575-6610
長田区北町2丁目2 (ローソン並び)

地元編纂クラブ大募集

一緒にアイトピアを作りますか? 作しませんか? 長田区及びその周辺にお住まいの方、興味のある方、ビースポート本部までお聴し下さい。お待ちしています。



第2回

「これからの長田を考える会」

地震が来ても崩れない社会を！！

私たちの手で思いやりのあるあったかい街を

みんなが誇れるみんなの街を

創ろうではありませんか！！

時間：3月11日（土）午後4時

場所：ピースポート本部1階
長田区御蔵通5-5



ピースポート本部本部
〒532-0202大阪府長田区

連絡先：☎ 030-845-3948 三谷

発行：ピースポート

印刷：あらばき印刷製版所

3月4日発行

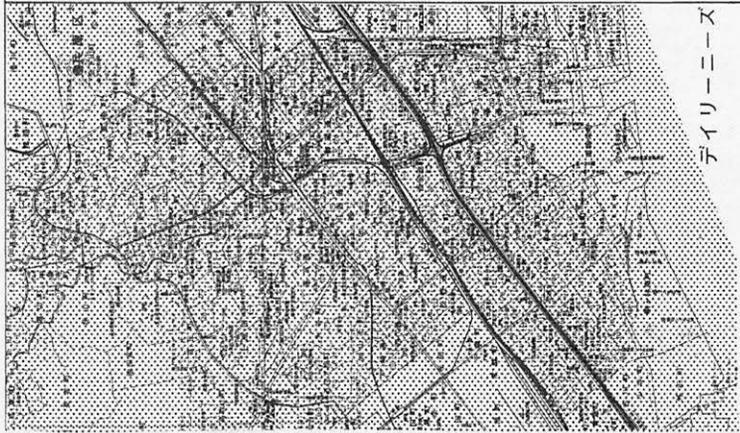
Daily Needs

デイリーニーズ

神戸・阪神間とっておき
仕事情報！！

1995.3.4

求人特別号



デイリーニーズ

情報提供：学生援護会

◆電気工事スタッフ
 (正)月 19700円～
 (ア)月 9000円～
 時間 8:30～17:00
 資格 未経験可、7000円～
 年齢 18才以上、専修免許
 待遇 残業あり、毎月5日有
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆宅急便補
 (正)月 20万以上
 内容 新神戸ターミナル内に
 時間 8:30～17:00
 資格 未経験可、7000円～
 年齢 18才以上、専修免許
 待遇 残業あり、毎月5日有
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆学業課 (社内小売担当)
 (正)月 19万4000円以上
 内容 スーパー店内で生鮮
 資格 高卒以上、27～40才迄
 年齢 18才以上、50才位迄
 待遇 残業あり、毎月5日有
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆男子警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆調理・接客スタッフ
 (ア)月 750～1,100円
 時間 10:00～28:00(夜相模)
 月給 10,000～32,000(夜相模)
 年齢 18才～22才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆製菓製品の販売
 (正)月 70000円(日・祝75000円)
 (ア)月 10000円(夜相模)
 時間 10:00～18:00(夜相模)
 資格 18才以上(学生に据る)
 年齢 18才～22才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆ドライバー
 (正)月 16000円以上
 (ア)月 12000円以上
 時間 19:00～23:00 夜相模
 年齢 18才～32才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆ドライバー
 (正)月 16000円以上
 (ア)月 12000円以上
 時間 19:00～23:00 夜相模
 年齢 18才～32才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備スタッフ
 (正)月 8500円以上
 (ア)月 7500円以上
 時間 8:00～17:00(夜相模)
 年齢 18才～17才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆ドライバースタント
 (正)月 10000～11000円以上
 (ア)月 7500～8000円以上
 時間 即日～18:00、勤務日
 年齢 18才～17才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆女子事務用品
 (正)月 800円(夜相模)
 (ア)月 700円(夜相模)
 時間 9:00～17:00
 年齢 18才～17才位迄
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆アルバイト引越スタッフ
 (正)月 8000～17000
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才以上 (高校生可)
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆アルバイト引越スタッフ
 (正)月 8000～17000
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才以上 (高校生可)
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

◆警備現場スタッフ
 (正)月 275,000円以上
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才～50才位迄
 待遇 住宅相模に成ります
 特選 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

賃金が未払いの被災労働者に 8割相当額を立て替え払い

勤務先が被災し、事業上の倒
 産状態となつてしまつたため、未だ
 に賃金の支払いを受けていない
 労働者に対して、未払いの賃金
 の一部を、四半期ごとに
 「未払い賃金の立て替え払い制
 度」が設けられた。申請できるのは、
 被災企業の中小企業に勤めていた
 人で、企業が被災し、退職した
 20日まで。立て替え払い額は4月
 までの定期賃金の支払われます。
 今後も支払われる見込みがない
 人。対象となる未払い賃金は、
 退職金(たまたま払い)の6
 か月分までの賃金で、支払期日
 が来ているにも関わらず、支
 払いを受けられない定期賃金お
 よび退職金の手続きが完了してい
 る者には、まず申請書の提出が
 必要で、申請書が、会社が審査し
 て注意が必要だ。



◆アルバイト引越スタッフ
 (正)月 8000～17000
 時間 8:00～17:00
 年齢 18才以上 (高校生可)
 待遇 昇給、昇給、有給、有給
 休 日 休、年末年始、祝日相
 当、賞与あり、退職金相
 当、CATV・電気、電話
 工事等
 内容 本工場の電工
 078-593-6271
 神戸市東灘区東灘5丁目10
 神戸電機産業部自販部5分

商店街MAP



① 食通路 4:00~17:00 日曜
 ② 民田中央市場 6:00~15:00 日曜
 ③ ナガタスーパー 14:00~17:00 日曜
 ④ 私生活の館 9:30~18:00 日曜
 ⑤ 大量かまぼこ屋 7:00~19:00 日曜
 ⑥ 主婦の友会 8:30~18:00 日曜
 ⑦ スーパーお宝 10:00~18:00 日曜
 ⑧ 郵便局 10:00~17:00 日曜
 ⑨ 魚崎産 11:00~17:00 日曜
 ⑩ 西アユ 9:30~19:00 日曜
 ⑪ マーケット 10:00~14:00 日曜
 ⑫ 長田神社 10:00~17:00 日曜
 ⑬ 長田金物店 10:00~17:00 日曜
 ⑭ 長田印刷 9:00~18:00 日曜
 ⑮ 長田商店 10:00~17:00 日曜
 ⑯ 長田印刷 10:00~17:00 日曜

⑰ 内口スポーツ 10:00~17:00 (50%OFF)
 ⑱ アナ子産院 11:00~19:00
 ⑲ 入道 11:00~19:00
 ⑳ コーヒー花石 10:00~16:30
 ㉑ アールエス (得意客中)
 ㉒ ジョーロ・ポネ
 ㉓ ナイーエー化粧品

㉔ ハラマリン 10:00~18:30
 ㉕ さももの川原 (得意客中)
 ㉖ さももの小川屋 (得意客中)
 ㉗ 長田印刷
 ㉘ BARBER 鈴木 3/10~
 ㉙ アーティン 5/10~
 ㉚ 石井商店 9:00~18:00
 ㉛ 大増産(年休)
 ㉜ マルチ 9:00~17:00 日曜
 ㉝ 中山文具 9:00~16:00 日曜
 ㉞ イデガカフ 8:00~18:00 日曜
 ㉟ タバコ(自販)
 ㊱ アールエス 10:00~18:00 日曜

長田商店街



街復興へく

ある自治のごころみ
 いきなり訂正から始まる。前回の3段目「私は他人のことをとやかく言えるような人向ではない」とあるが、これはその点では私も他人のことととやかく言えない」と訂正します。だてて私、実際はとやかく言っているのである。ただ、頭が熱いとか、段階をたまないと理解できない」と言うのなら、私も全く同じであると言いたかった。

の。だ。もつ一度この部分の訂正して読み直して下さい。さて、森南地区の話である。2月20日、森南地区の人々は、神戸市議会議員長あてに陳情書を提出した。三千余の署名を添えて、陳情書にある。「計画の17M道路は地区を分断し、2号線のバイパスとして、日々通過交通に悩まされ、排気ガス、騒音などの問題もあり、地区の環境を破壊すると、この計画を全く知らない

この地区に、必要のない道を私達の土地を削って作りあげようとしているのだ。ここは森南地区の住民の反対理由が集約されてい。なんにかもつ一度自分達の家を建て直し、もとの住み良い町に帰りたいたいと考え始めていた住民に、神戸市の土地に、中には遠くの親類の家を避難して、この計画を全く知らない

人だ、である。それなのに、市はわずか20日間の説明のあと、実施を強行しようとしている。森南地区のリーダーの一人、伊東真一さんは言う。「全国が震災の時にあなたがいちがさのべられ、みんな神戸を注目しているのに、あなたが街づくり、ガスロタンが、た神戸市が、こんな短期間に復興計画を決定し、手続の上は合法だ」といふのは納得できない。(安東憲)

地元編集スタッフ大募集!

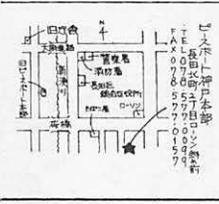
有志者、速速お申し込み!!

- 編集、版下制作、てみらい
- デザイン、イラストが得意な人
- いろいろな記事を書きたい人
- 体力に自信のある人

等々、

その近辺に住まい、やる気のある方。ぜひペースポート本部までお問い合わせ下さい。(10時~18時)

03062822254
 030628453948



DAIRY NEWS

生活情報
かめら版

3/6 第37号
（月）ポースポート
発行：ピースボート印刷所
印刷：あひだ印刷 10%
印刷：あひだ印刷 10%
印刷：あひだ印刷 10%

お父さんお母さん、子供たちの心のケア

大震災は子供達の心も大変痛手を受けています。子供と接する時は、次のようなことに気をつけましょう。

①子供に安心感を与えようとする。言葉だけでなく、抱きしめたりするのでもよい。

②子供が悲しむや恐怖の感情を話すようになり、充分に聞いてやる。恐怖の体験を聞いてやる。パニックになっているようなり、災害時と今は違うというところ。子供が理解できるように時間をかけて話す。

③24時間、子供とまじりあうこと。

④ほかの子供とよく遊ばせる。

⑤年齢によらず、手伝えることがあれば手伝わせ、自分が役に立っている子供に実感させる。

（関西学院校後援ファンティアセンター）子供相談室
07070805464000



毛布を作ろう!!

避難所生活にあら、特に女性の性向が異なる場所がないという声を聞いた。学校の教室や体育館に避難している人々の多くは、目に見えないところで、着替える場所がない。作業は簡単、解体中の家屋から廃材をいれて、鍋と金づちで織る。男性話者、一発作した後はおまかせ。 (吉田真照)

励ましコンサート (三浦)

昨日、音楽家の水澤節子さんが母校である長田高校で、励ましコンサートを開催されました。美しい歌声や楽器演奏が披露され、「白翼×ドレミ」「デイジーソング」「となりのトトロ」「ふるこの四季×ドレミ」等はみなさん一純に口ずさんでいました。水澤さん他6名のアーティストの方々の心はみなさんに届いたことでしょう。

PIANO コンサート

神戸大守住音楽主催
神戸元氣村後援
PIANO DAYS /
6日(月)CLASISSIC
7日(火)JAZZ
7日(火)JAZZ
7日(火)JAZZ
7日(火)JAZZ

求人情報

▼フロアデザイナー
即オ・オオオオ 17時〜21時
スナックワサトル
07033-7752
野田町8-4-9 陸産マシオン1F
▼男子常備工3名
8時半〜17時半 因日
給料は経験による
新光化学工業所
0671-7330
真野町3-1 俣木ビル1F

▼土木作業員オペレーター
①1万1千円以上
宿舎完備 現場/阪神間
・西賜市
有限会社ケーズ
0252-3535
中央区御幸通2-1-1 20
パルトリート三宮5-A
▼パチンコ店従業員
二交替制(9時〜、14時40分〜) 収入、夫増3万円
1円、独身男女18万円以上
待遇応相談
パチンコニューメトロ
07070230022000
姫路市直畑区鶴町1-8-1

無料整骨院

開設の
お知らせ

関西や九州から有志で組織された整骨医療ボランティア実行委員会が長期の避難所生活からくる外傷・腰痛、筋骨痛、関節痛等の治療や痛みの相談を行います。

場所/ピースポート本部1F・フリースペース「なごみ」
日時/3月6日(日) 10時〜16時(※10時〜11時は併時まで) 往診可 詳細は、06487540275 (渡辺) 0952533788 (隈本)

▼細田町4-2でカットハウス「コテラ」がネット上で臨時開業し、シャンプー、カット、アイロンパーマができます。料金はお気軽に。 (おでんのサービスマスター) 10時半〜18時くらいの間営業。 04月

防塵マスクの勧め

—その3—

「長く細く肺に変質せず、汚染する繊維は発ガン性を示す。」(S・E・ヒルトン)
 アスベストは水に溶けない、燃えないなどの物質的特性により、現在岩綿不能の中皮種、肺ガンなどを引き起こす特定化等物質です。
 肺ガンになる確率と一般生活をしている非喫煙者と1とすると、石綿労働者との非喫煙者が、回

喫煙者が5まであがるというデータがあります。まさに今、街中は石綿労働者と同じ状況にあるわけです。
 アスベストは目に見えないほど微細な繊維かもしれませんが、防塵マスクを使

用して下さい。
 肺ガン/神戸地球環境研究会
 ＊防塵マスクのあるお店
 マ神戸ライオン(若原通5-43-5、5-11)
 マ細川作業服店(宮原通6-1-2)

街復興へ

—第11回—

この連載を始めて11回初めて長田のことを書くことができます。
 西原自治会、森南地区の活動について書いてきたのは、そこに住民の自主をめぐめる活動があったからである。
 この街に住みたい、自分の住む街を震災以前のよりに戻したい、いや、あの震災で助け合い救い合、人になちと同じ

街で暮らしたい、それがこの2つの自治活動の根拠だ。
 それだけに、神戸市の理不尽とも告る区画整理や都市開発の強行に対立せざるをえなかつた。
 「私たちは行政と対決したいのではない、これからの神戸の復興は、行政も住民も一緒に進めていかなければダメだ」と思うからこそ、私たち住民の声を聞いてほしいと言っているのです。
 この声、どこの世界に

お風呂開放!

お風呂を一般の方に無料開放します。お風呂の湯船、仲間に入ろう!

時間/何時? 何時
 場所/御殿通り1-5
 電話/077-0009
 イベント情報
 3月6日(日)から、狂言やマジックなどの楽しいイベントが行われます。場所は神戸市役所隣の神戸東遊園地、主催はフラワートです。
 問合せ03514019

無料電話撤退

長田、須磨、兵庫区役所、駒ヶ林公園の4ヶ所で行われていた無料電話は3月6日で終了します。3月7日からは公衆電話をご利用下さい。
 NTT神戸西支店

おもちや雪用品が無く困っているお母さん、かむりステーションまでお電話下さい。
 向い合わせ先/兵庫県民子ども連合会
 0221-4081

デイリーニーズは週刊化します

Sally Needs

昨日お知らせしたように3月9日号をもって、終刊します。
 今後編集部は「これからの長田を志する会」に移行し、長田区民による長田区民のための週刊チラシ誌を発行する予定です。
 これからも、引き続き御愛読下さい。

お詫言と訂正

昨日の第2号で掲載した「木田共同保育所再興の記事に誤りがありました。同保育所では現存、年輪により、保育内容と併せておりません。室内保育と並行して妙法寺の公園での青空保育は実施してありますが、4月からは通常保育に戻る予定です。

関係者各位、並びに読者の皆様へ御迷惑とおかけしたことをお詫言いたします。

地元編集スタッフ大募集!
 編集、印刷制作や、おたい人アガ、イラストが得意な人、いぶんお話を書きたい人、体力に自信のある人、経験向かい。
 長田区民及びその近辺に在住または通勤の方、ぜひサービスボート本誌までお話し下さい。



デイリーニュース

生活情報
カケル版

第38号
(火)
発行: ピースポート印刷所
印刷: おおはら印刷製本
発行所: 雨屋製本
定価: 100円
送料: 10%

心のケア

にっく

前号で大震災によって心の痛手を受けて手供進へのケアについて掲載しました。今回は大人の方へのケアについて。大震災のショックや不自由な生活による疲れのため眠れない、気分が落ち込んでやる気がなくなったり方を开けた時、ますます積極的に話しかけてみましょう。そこで内に秘めたつらいことや困っていることと聞いてあげましょう。話すことにより、心はスッキリするものです。また、散歩に連れて行く。たり、適度な運動をさせることにより、よく眠れる環境づくりの励みになります。電話相談や専門家に話を聞いてもらうこともお勧めします。へ心の相談へ

3360・8551
時間/9時~19時
②/9時~17時 休日
県立女性センター

避難所で生活をされてる同胞の方への呼びかけです。苦勞に負けず不屈の精神で頑張ってくださいという内容です。五巻目の三山京東(全巻)でんより

心療内科 精神科
心療内科 精神科

心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科
心療内科 精神科

人への支援

(救護所)

（知）日本てんかん協会は家族を支援するため「JEA支援センター」(救護所)を設置し、疾の提供、医療アドバイス、生活相談と助言等を行っています。お電話下さい。毎日、午後1時~5時。3月まで設置。
②27116001574
中央区坂口通2-1-18
矢庫区福祉センター2F

被災者のための

合同就職説明会

履歴書を持参して下さい。
▼神戸・灘・明石・西神
3月4日(火)/13時~15時
3月9日(水)/13時~15時
▼尼崎・西宮・伊丹
3月16日(水)/13時~15時
尼崎市中小企業センター
尼崎市昭和通2-1-61 68
各50社参加。職種は事務・営業・技術・技能等。
向い合のせ/兵庫県
労働部職業安定課職業係
②362・3378

求人情報

▼パート(ミシンエ、下手向さん)
8時~18時 休日
(南庄) 庄田町3丁目2-1
②611・4643

炊きだし情報

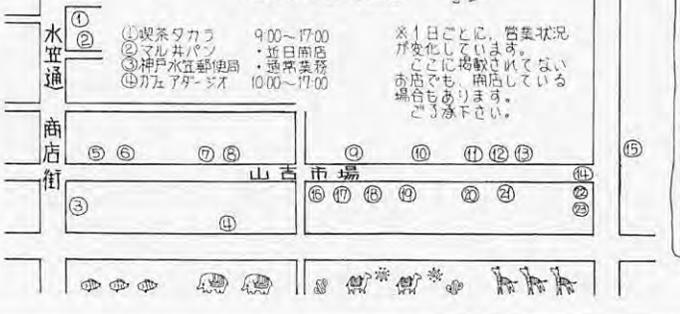
▼ホワイトシチュー 600食
7日16時より大橋中にて主催/カルパリ教会
水筒通



山古市場

- ほぼ9:00~18:00 休日
- ⑤山口漬物
 - ⑥刀ノリスト山木(花屋)
 - ⑦中西食品店
 - ⑧味原漬物(100円ショップ)
 - ⑨高木乾物
 - ⑩洋品フジ
 - ⑪うめだ精肉
 - ⑫仁徳製菓
 - ⑬つたや化粧品
 - ⑭西村精肉(ゆまこ)
 - ⑮共興(魚屋)
 - ⑯カラバカー
 - ⑰高原フレイ
 - ⑱山古市場
 - ⑲木見昆布
 - ⑳ばんしょう家庭用品
 - ㉑グリーンピース(八百屋)
 - ㉒中尾茶屋
 - ㉓石丸製物
- ⑳ト-西4代店 10:00~21:00

商店街 復興MAP



防塵マスクの効用

取扱い店特集

▼ナガタ薬局四代店
水戸通2丁目1-19

3641・3003

▼イセヤ薬局
神楽町3丁目0-14

3694・6438

▼新生薬局
菅原通7丁目1

3576・0805

11時~18時 閉日

▼サンヨー薬品 閉日

松野通2丁目5-14

3621・3444

街復興へ

ある自治のこころ

いま東京に

FA Xという便利な魔

物が空中を舞うようにな

って以来、私たちは6百

細の距離を一気に駆けぬ

けて思いを伝えることが

できる。それでも、長田

の現場は信え切れない。

臨場感という生きものは

遠く神戸を離れて、い

ま神戸で何が起きている

か語る。私の話を聞く東

京周辺の2日の睡は、初

街の人へ

「ボランティア」

からの手紙

靴を揃える度に、街が

少しづつ動きだしている

のを感じる。家屋を取り

壊す音に混じって、人通

りが以前より多くなった

我がペースポートでも

アルシート張りや引越

しの手伝いといった仕事

が進んできた。

商店も、営業できる所

は再興し、住居の問題と

めて聞く神戸の、長田の

今に、好奇心をくくせな

い。東京では、神戸市の

荒菜のとき都市再開発

は伝わっていない。

東京には典型的な都市

再開発の場所がある。カ

つて副都心ともはやさ

れた四新街である。映画

「アラドランナー」の

世界のような、高層ビル

・広い道路・人工の公園

でつくられたこの空間を

抱えながらも仕事をし

ている。時が前向きに流

だしたように。

梅ヶ香2丁目のハマー

サロン「キング」も頑強

なっている店の一つであ

る。この店は、風呂など

スパイスは地震の被害を

受けたが、店内はほとん

ど無事だった。ガスが使

えないのでストアで沸

かした湯をボンプで汲

み、髪を洗う。これが

なかなか気持ちいい。

実はこの店、我々ボラ

ンティア連中が洗髪等

の土で、ここに住んで

いる人たちが暮らしを

したいと考えている人々

その大きな一つは、この

土地を離れたくない。

ここひんねと生きていき

たいと願う人たちの声だ

うた。私たちが言わなく

ても、私はそうだった。

日本の家族制度が崩壊

したためなのか、単に私

世話にまわっている。

「根拠を思っ」て気軽に

てくれはらええ」

御主人は、ボランティア

の子にっかつかつて居

めた茶色い前髪をじり

ながら言った。

御主人に頼らず、よそ

者である我々も、ここ長

田の人たちとは心地よく

かえてくれている。と同

時に、若い世代への期待

の音の中、地元の若いボ

ランティアが占める割合

も増えてきた。

洗髪もそうだが、ボラ

ンティア連中が洗髪等

の土で、ここに住んで

いる人たちが暮らしを

したいと考えている人々

その大きな一つは、この

土地を離れたくない。

ここひんねと生きていき

たいと願う人たちの声だ

うた。私たちが言わなく

ても、私はそうだった。

日本の家族制度が崩壊

ボランティアが助けられて

いる。その手伝いにも多

くかかっていること、す

ることも徐々にではある

が、できていくことを

実感する。我々が自分の

街へ入る日もそう遠くは

ないだろう。そんな不安

が少しづつ、生まれてき

ていく。

初めに長田を訪れた時

雪が降っていた。最近の

雪が降かかっているのは

田が暖かく感じるのは

春の訪れが近い、ただ

これだけではないように思

う。

(田)

日見山自治会館で開かれ

る。復興のまちづくりア

ランの創造がテーマであ

る。同じ日、午後4時か

ら、ペースポート本部

の1Fで「長田を考える

会」の第2回集合同様に

この会は、いずれ長田を

創る会に発展する。

大橋中・入浴日変更

3月8日より、大橋中

学校のお風呂の入浴日

が変更になります。

男性/日・水・金

女性/日・木・土

7日臨休

困火

▼介助入浴サービス

3月13日まで協同病院

に入浴車が設置されます。

介助が必要の方は優先し

ます。希望される方は協

同病院までご相談下さい。

3641・6211

(内線78)

地元編集スタッフ大募集

「街の衣」

編集、原稿制作や、

デザイン、イラスト

が得意な人、

いろいろな記事

を執筆して

いただく方を

募集します。

長田区及びその

周辺に在住の方



神戸・長田区 町再生を自分たちで

住民ら考える会発足

行政側の計画に反映を

これからは自分たちの手で町を再生して欲しい、神戸市長田区の住民らが三日、同区画鉄道の支援団体「ピースポート本部」に集まり、「これからの長田を考えると」を議題とした。避難所などから約九十人の住民やボランティアらが駆け付け、協力してこの日を準備し合った。



自分たちの手で長田を再生させようと集まった住民ら＝神戸市長田区、ピースポート本部

発起人は同区内に住む大
学助教授三谷真さん(言)や
コピーライターの松本佐代
子さん(言)ら四人。
ボランティアには学生が
多く、三月をもちに撤退す
る団体もあるため、被災者
である自分たちの生活
を支えていく時期だと痛
感。住民に「ピースポートの
情報紙などで」考える会」
への参加を呼び掛けた。
この日は平日であったが、
女性が目立った。東京池町
の自営業、林久仁恵さん
(言)は「私は在日朝鮮人の
三世。何かできることがあ
れば、一緒に暮らしたい」

いど参加。また地震当り
知人を助けようとしたが火
の手が上がり救うことがで
きなかったという長田北町
の飲食店経営、宮本政幸さ
ん(言)は「生き残った人の
役に立つことが無いになれ
ば…。思いやりのある温か
い町にしたい」と話した。
ピースポートの桶田隆司
さん(言)は「今持っている
ノウハウとネットワークを
引き継いでほしい、ボラン
ティアがいなくてもやって
いける長田区にしてほし
い」と勇気づけた。
「考える会」は、今後も
区内の住民に協力を呼び掛
け、住民の願いなど行政の
計画に反映させていく。
二回目の集会は、十一日
午後四時から同じ場所で行
う予定。

ミニコミ紙も様変わり

廃刊、視点変え創刊も……



生活に密着した情報を被災者に提供したミニコミ紙。日々の生活から復興へと、情報の質も変わりつつある

阪神大震災の被災地で読まれてきた「ミニコミ情報紙」に、様変わりが見え始めた。「引き継ぐがいない」「生活情報へのニーズが薄れた」などの理由で廃刊になったものがある一方、「復興情報」に力点を置いて発行を始めた避難住民や、ボランティアから発行を受け継いだ地元住民もいる。震災から三カ月が過ぎ、ミニコミの世界でも模索が続いている。

三月末、神戸市灘区の六甲小学校で学生ボランティアが発行してきた「六甲ステップ」は第十号を最後に廃刊した。生活情報だけでなく、住

住民の声行政に発信へ

民間のコミュニケーションの潤滑油になることを目指してコラムを載せるなどしてきた。編集を担当した岡本英子さん(三)は「引き継ぎ手を探したが、名乗り出る人がいなかった」と話す。ピーク時には約千人が避難した同区の神戸大学では、学生たちが一月末から、新聞記事を拾い集め、住宅、障害者、医療、交通などテーマごとに掲載。一

カ月間に六号を出した後、「生活情報へのニーズが薄れた」として打ちきった。一方、同市東灘区の魚崎小学校の避難住民らは三月十二日、情報紙「せせらぎ」の発行を始めた。B4判一枚で週一回約四百部を発行。生活情報ではなく、家庭解体の方法など、復興の動きや催し情報を中心に掲載する。一町の復興を考

えるのがねらいという。三月九日、同市長田区の広告会社代表、松本佐代子さん(四)らでつくる「すたあと」これからの長田を考える会」は、週刊誌「ワイークリーニーズ」の発行を始め、これまでに六号にた「ピースポート」が一月末、同市長田区で発行を始めたB4判、表裏二面のミニコミ紙「デイリーニーズ」を引き継いだ。「ワイークリーニーズ」の創刊号は、粉じん問題を取り上げた。第六号では、県外勢から地元へのボランティアの引き継ぎの足取りを追い、長田の街の姿を特集した。松本さんは「最近はずり落ちた生活をとり戻すための情報が求られている」と話している。東京大学社会学部研究所の廣井脩教授(災害社会学)は、ミニコミ紙の功績を「情報を地域に即した形で提供した▽避難生活の精神的支えや連帯感を強める役目も果たした」と分析。「今後は、住民の声を行政に伝えるという逆方向の発信を担うことになる」と見ている。

震災ボランティア(29歳)交通死

仲間らが追悼会 15日 神戸で

「ガレキに種をまく」
君の情熱忘れない



ガレキの中でスタップと打ち合わせをする梅田さん(左から3人目)昨年2月14日、神戸市長田区

阪神大震災直後の神戸で、被災者向けの情報紙を発行したり、お年寄りに生活物資を運びながら復興支援に尽くしたボランティアの梅田隆司さん(神戸市)が先月二十日、交通事故で急死した。その五日前、二十九歳の誕生日を迎えはかりだった。「ガレキに種をまくんだ」。仲間のボランティアをきき驚いて徹夜の支援を続けた青年を追悼しようと、被災者や遺志を継ぐ仲間らが十五日、神戸・三宮で「梅田隆司を語る会」を開く。

梅田さんは、市民団体「生活情報かわら版・テイスポート(本部・東京)」イリーニエスの第一号をの専従スタッフ。二年前に発行。水と食糧配給から再び、遺志を継ぐことは大阪事務局(北区)の事。空市場、入浴、求人、義援金交付、行方不明者捜しなど、さまざま情報を提供。青山学院大在学中の七年、さままま情報を提供。前、ピースポートに加わりし続けた。

中退。客船にとも地球一周。一月中旬には、東京の同クルーズ船を主催。震災。彼と連絡を取り、不足して後いち早く東京から神戸。いた自転車約八百台、ボヤヤー運搬車の交雑。入り、長田区にレハフツボランティア約百人を乗せた。美司子さんと出陣する復興活動を開始した。高層マンションで足腰。問い合わせは、ピース震災から十日後、大型が倒れて動けないお年寄り。印刷機を持ち込んで仕上げのために重い飲料水や食料(720リットル)へ。

長田で活動 かわら版、食料運び

品などの生活物資を運ぶなど、四月下旬まで二カ月間以上被災地にいました。その活躍は新聞やテレビでも紹介された。

その後、東京に戻り、本部スタッフの中核として活動していたが、休暇中の先月二十八日昼過ぎ、山梨・高根町をオートバイで走行中、急ブレーキをかけた前向の乗用車を避けようとして対向車線にはみ出し、転倒、車を衝突し内臓破裂などで命を失った。

梅田さんの死を悼み、同二十八日自宅近くで営まれた告別式には、神戸の被災者や同僚ボランティア、五百人以上が駆け付け、参列者から「被災地でも梅ちゃんの活躍をセンタで聞かされたハイ」といふ声が上がった。一語金交付、行方不明者捜しなど、さまざま情報を提供。前、ピースポートに加わりし続けた。

学習その一

金田真須美

(現在すたあと長田を中心に活動中)

震災から五度目の一月一七日が近いある日の事。

通い慣れた仮設住宅で仲良し婆ちゃん三人組と茶飲み話に花を咲かせて居ると、一番年上の婆ちゃんが「仮設を出て復興住宅に移っても大切なんはコミュニティやね」とのたまった。

婆ちゃんの口からこぼれ出たそのカタカナが、おかしいやら可愛いやらでその話の続きをうながすと「震災におうた朝は全身の力が抜けたみたいで生きた心地もせなんだ。夜になって学校の体育館で回りの話を聞く内に、よそはもっと酷いんやと知った。うちはペッシャンコになっただけど命だけは助かった。明日の朝、明るうなったら出せる物だけでも引張り返り出して見ようかと思つて…」

翌日、婆ちゃんが全壊になった自宅に戻ろうと支度をしていると、宙を眺めて煙草をくわえた男が「おばあちゃん一人もんか？一人やったら大変やろ、手伝うたるわ」と声をかけて来た。昨日見知ったばかりの男から突然の申し出に戸惑った婆ちゃんは「こんな時におたくも大変でしょうからお気持ちだけで」と告げた。すると彼は「うちは燃えてしもうたら何も出すもん無いし」と答えた。次の言葉が見当たらずになつてしまった婆ちゃんは「そんならすみませんが宜しくお願ひします」と、その日は彼と二人でペッシャンコになつた我が家に戻り、柱や家具のすき間から僅かばかりの衣類や家財を取り出したそうだ。

當時を思い起こす様に婆ちゃんは「崩れた我が家を前にした時にほんまは泣き叫びたいような気分やつたんよ。そやけど取り出す物も失くなつてしもうたその人の前では泣いたらいかんような気がして、私こらえとつたんよ。そしたら私の荷物を取り出しながらその人が泣いとつたんや。それを見たとたん私も胸が張り裂けそうに苦しくなつて…暫く二人でワアワア

泣いたわ。」

実を言うと私がこの話を耳にしたのは二度目だったが三年程前に聞いた時たしか婆ちゃんは沈痛な面持ちをしていたが、今回はこちらが驚く位にアツケラカンと話し、笑い飛ばしている様子を見てみると、^ッああ、この婆ちゃんの中ではそれだけの月日が経って居るんだなあ」と改めて感じずにはいられなかった。

それからの婆ちゃんは一人暮らしの利点を身軽さに見出し、震災から半年後に移り住んだ仮設住宅では住民の世話役を買って出て自治会の役員だ何だと今も忙しく過ごして居る。

以来、風邪をこじらせ辛そうに電話をかけて来た時に私が無理しない程度にと労らうと「あれこれとやらなあかんな事が有るから早よう元気になるうと思うんや。自分の事なんて七〇年近こうやとったらええ加減あきたわ。」と言り返された。いやはや仰っしゃる通りかも…。

年金を頼りの一人暮らし、テレビの前でお茶を飲む姿が理想の老後だとは私自信も思わない。

個々のコミュニケーションの延長に地域のコミュニティが存在するならば年齢を越えてその成長を支え合うのは当然の事だろうし、意外とその場面から逃げているのは私達の方で高齢者に押し付けて来たのかもしれない。

電車で隣合せた人や公園で日向ぼっこする爺ちゃん、同じ町に暮らす外国人や障害を持つ人…。

私達はいつまで目をそむけ続けるのでしょうか。

阪神・淡路大震災から五年。筆舌に尽くせぬ苦しみの中で支え合うコミュニティの重要性を身をもって分かち合った貴重な経験を全国各地の方々に一日も早く気付けて欲しいと願い伝える傍らで、自分の町へ戻って行った震災ボランティアという種がこれからどんな芽を出し、花や実をと思つとこの国もまだ捨てたもんじゃないと胸が弾む。

婆ちゃんが四回目の抽選でやっと当たった公営住宅の完成まであと半年もあるが、その町へと移り住んでも「やっぱりコミュニティが大切やね!」といつまでも、のたまっていて欲しい。

“必要”を探り、次に向けての出発点を探して

まち・コミュニケーション 小野幸一郎 (「テイリーニース」創刊時スタッフ)

一九九九年一月一七日で、震災から丸四年が経ったこととなります。被災地である阪神・淡路地域以外の人にとつては、震災のことなど「あー、そういう事もあったねえ」といった「遠い昔の出来事」でしかないでしょう(ともすれば被災地の中でさえそうですから)。今だ「支援活動をしている人間がいる」と聞いたら、かなりの方が驚かれるのではないのでしょうか:「一体何を支援してんの?」とか:「しかし、この冊子を手に取りられる方は、大なり小なり関心をもたれてるでしょうから、そんな事もないでしょうが)。

さて私は現在も、全焼地区である長田区御蔵地区で「まち再建」の支援活動をしています。残念ながらこの地区は、今もまだ震災前の三割にも満たない方々しか居住または商売をされていません。

「戻れない方々はどのような人かといえば、再建をする「力」がない方々か、もしくは「戻る法的権利を持たない」人びとばかりだと言つてよいと思います。

私が代表を務める「まち・コミュニケーション」は、その中で、何らかの「支援」があることによつて再建が可能になる方のお手伝いと地域のコミュニティ作り(「まちづくり」という言葉で頭わされます)の側面支援をしております(と、言ったところでピンとくる方は、あまりいないとは思いますが)。

過去、「ボランティア元年」「都市の欠陥を露呈」「震災の経験を社会の財産に」等々、震災にまつわるさまざまな言葉

が並べられ、叫ばれてきました。そして一月一七日を迎えるたびに「真の復興は遠い」「まだ続く被災生活」等々、厳しい現状を伝える見出しが全国紙を飾ったりしてきたわけですが、それで何かが変わったのかというと、「？」です。恐らくは、変わったこともあるし、変わっていないこともあるでしょう。では、何が変わって、何が変わらなかったのでしょうか？　そして、何が変わるべきなのでしょう？

社会システム：それが一つの答えかもしれません。震災直後の自治体・国の初動対応の遅さが指摘されました。各地・各所での救援物資の輸送手段の偏りが指摘されました。消火活動の不徹底が指摘されました。ライフラインの脆さが指摘されました。ボランティア受け入れが未整備であることが指摘されました。都市災害にまつわる法律の不備が指摘されました。そして5年目を迎える今、復興へのビジョンが「被災者の生活復興」から隔たっているという指摘があります。

膨大な過剰・膨大な指摘↓膨大な取り組み・検討。そのどれもが重要で、そのどれもが具体的に反映されなければならぬと思います。が、しかし、それらは私やあなたの「頭の上」の話ではないですか？　意見や批判はできて、私たちが当事者・責任者として取り組む話だとは言いがたいと思いませんか。私たちはシステムを利用する側であっても、システムをメンテする側ではない：：無論、その両方の立場の方もおられるでしょうが。

「デイリーニーズ」とは、震災後一週間に、神戸市長田区で発刊されたミニコミです。

「印刷機をトラックに積んで、神戸に行こう」という突飛な発想をした新宿の印刷屋さんに、民間国際交流団体「ピースポート」が呼応、「思いついたら吉日」じゃないですが発想して三日目には現地にて創刊準備号を制作していました。

この「縮刷版」をご覧になり、皆さんがどの様な感想をお持ちになるかは分かりませんが、「創刊スタッフ」の一人として、私自身が言いたいのは、「必要」を探り、それに見合ったモノをつくる」と言つことの重要性です。

なあって、当たり前じゃないかと思われるかもしれませんが、ご自身のまわり、もしくはご自身が何らかの「事件」があったとき、あなたは「結局〇〇がいけないんだ」と、問題の発生責任を他人や社会やシス

テムやらのせいにしてはいませんか？　そしてそれで終わっちゃいませんか？」「それはそれとして自分は何がやれるか」と果たして考えますか？

デイリーニーズを発行したとき、それを作り・配った私たちは真冬の公園でテントをはり、トラックの荷台で印刷をしました。八人で、一二人人の居住者がいる長田を全部カバーするという、無謀極まりない方針でありながら、何故その実現が可能であったかといえば、それは「必要」を探り、それに見合った「行動を各人がしたからでしょう。その後に来たボランティアの子には悪いけど、「指示待ち人間」なんか一人もいませんでした。

日刊です。長田に到着した日からずっとです。だから配達＝取材、そして毎夜原稿書きです。ハッキリ言って役所から戴いた「避難所情報」は役に立ちません。毎夜の配達報告ミーティングで各地区の避難状況の実態がどんどん明かされます。我々だけでは手に負えません。区役所に設営された「ボランティアセンター」に相談したり、もちろん紙面で支援を呼びかけたり。そんな動きがボランティアグループの連携・ネットワーク作りに寄与したと言っても過言ではないと思います。

「必要」が人を動かし、システムを生んだのです。

「まち・コミュニケーション」は一九九九年四月に被災地で誕生した（自称）NPOグループですが、それも「必要」を感じたからでして、私にとって原点は、あの戦争の焼け跡の様なまちを自転車で配っていた時の感覚と言えます。だから、僕自身にとってこの「縮刷版」発行は本当に嬉しい限りなのですが、お読みになる皆さんにとっては、この冊子は何を語ってくれるのでしょうか？

私にとっては地続きの阪神・淡路大震災も皆さんにとっては「懐かしい過去」。「そのギャップははっきりとある」という認識が、この冊子を通じて共有できる、それが案外「次」に向けての出発点かもしれません。

肩書きとは関係のない、「まち」で共に暮らす、「あなた」に、そう伝えたく思います。

デイリーニーズ雑感

株式会社兵庫商会 田中保三

デイリーニーズ発刊号余白部分に、畏友北川明氏より震災見舞と元気づける言葉を書き残して留守中の仮設事務所に記してあった。

そして二、三日後あらばき印刷の関根社長がまるでルンペンのような格好で発電機の故障修理依頼にやって来た。それは何日も着たきり雀で夜は、ドラム缶に廃材を燃やして暖をとっていたため、顔まで煤けて社員はおろか私自身も「こんな人とは面識ないぞ」といぶかった。北川氏よりの伝言を持って来て納得。早速社員の一人を走らせ修理した。

あの頃は（一月下旬）は新聞すら満足に配達されなくて、みんな活字に飢え、報道されない非日常生活の中のニーズを適格に汲みとり、貴重な記事を載せるこのミニコミ紙がどれほど待ちわびる人々の多かったことか。

その存在の意味深さに感銘を受け新聞の原点をみた様な気がした。

またそれに従事にする面々、中でも梅田君、山本君のコンビには驚いた。我々被災者が術なく立ちすくんでいる間にも、人としてのぬくもり、やさしさ、そして若者のもつ力強さでもって焼土と化した、ガレキの神戸を東奔西走懸命に前へ前へと歩を進めていた。

ピースボートが活躍した二ヶ月余、多くの若者達は人として、他者の痛み、悲しみ、苦しみを自分のものとして受けとれる感性を備えただけでも得難い体験だったろう。若者達の成長を素直に喜びたい。

でも、一方梅田君を失ったことは私自身の幸福の一部を失ったと云って良い。それは「あの時」を共有し、お互いに懐かしく、ありがたいと感じ合える、心から話し合える真の友を失ったのだから…。

（「すたあと長田」をはじめ、ボランティア村をいまもずっと支え続けている方です）

ただもんじゃない

風俗ライター 伊藤裕作

僕が「あらばき」のおばちゃんと、初めてあったのはピースポートが最初の世界一周をした船の中だった。

竹中労、太田竜、平岡正明、ある時期、同じ空気を吸ったものだけが知る名前が会話の中で飛び交い、別に大した話をしたわけでもなかったが、気心の知れたおばちゃんと言う印象を持った。

それから、二度ほどピースポートの中で一緒にいろいろ話をするうちに、おばちゃんの夢が、

「印刷機を積んだ車で、ゲリラ地帯を回り、情報を発信すること」

で、あることを知る。確か、それは、94年夏の船旅で、パナマ運河を渡っているときた、と思う。

その旅で、おばちゃんは、僕がおばちゃんに住まいと仕事場である新大久保に近い高田馬場の住人である事を知り、「ウチで、時々飲み会をやるから、タマに

顔を出したら……」

と、言うことになった。

そんなわけで、その年、二、三度、僕は、新大久保のおばちゃんの家にお邪魔した、ように思う。

年が変わり、95年一月二一日の夜、その日は前から約束していた、おばちゃんの家での新年会だった。テレビでは、震災の被災地神戸の映像が流れていた。

「おばちゃん、今、ここで一番足らないものは、どこへ行ったら何があるのかという情報は、じゃないのかな。ここへ印刷機を持っていて、情報を届けることができれば、みんな助かると思うよ」

おばちゃんの夢を知る、僕は、知らず知らずのうちに、おばちゃんを挑発していた。もちろん、それが、簡単でないことは知っていた。ところが、おばちゃんは、

「そうだね。うん、やってみようか、小野」
同席していた、従業員の小野ちゃんに声を

かけた。

「おばちゃんが、やるって言うんなら、僕やるよ。」

小野ちゃんも即座に返した。

「ピースポートにも協力してもらわないと……」

おばちゃんは、すぐに受話器を取り、ピースポートの吉岡達也氏に連絡を取った。

(このおばちゃん、ただものじゃない)

僕は、いつもは、のほほんと構えているおばちゃんが即断即決し、テキパキと事を運んで行く姿を見ながら、

「印刷機を車に積んで、ゲリラ地帯を回りたい」

と、言うおばちゃんの夢が、単なる絵空事でなかったことを、この時ハッキリと知り、その夢にむけて、走り続けるおばちゃんをできる限り後方支援するのが、あの時代、同じ空気を吸った僕の勤めである、と、その時、心で決めたのだ。

ピースボートTo神戸

神戸を離れて

ピースボート 石丸健作

読み返してみた。「やっぱりすげえ」というのが感想。間の抜けた感じだが、これが必要とされていたということは、これが無かったらどうしてたの? という風に思ってしまった。思い出した。当時神戸でそう思った。自分の町に住まされていることにすごい危機感を感じた。地元に戻ったら自分の生活を変えようと思ってた。良かった、読み返して。

この新聞書いた人、取材した人、印刷した人、配達した人、みんな今何をやってるんだろう。読み返していると、名前がキーワードになってフラッシュバックする。ずっと会ってないひと。昨日会ったばかりのひと。死んじやったひと。

死んじやった人に梅田隆司さんがいる。

少しだけ彼のことを書きたい。彼はこの新聞を作る人たちにとって、習字の文鎮みただった。体がおおきくて重かったし、しゃべり方もゆっくりだったから、そして何よりもみんながバラバラにならないようにしていたから文鎮だ。彼はこの新聞の最終号を書き終え、神戸をでたあとちよちよをくちよく長田に戻ってきた。「おれは震災がわかるまで神戸にかよいつづける」って言ってたけど、ホントはみんなに会いたかったんだ。東京に帰ったかれはカッコいい文鎮になるためにカッコいいバイクを買って死んじやった。

今年も1月17日に神戸を訪れ感じ、そして聞く。「震災は終わっていない」。「生活」を「人が住む街」をつくるために生きている人たちがいる。それでもって人が生きている限り震災はなくなるならない。僕らにとっても神戸は終わらない。そこで生まれた気持ちや出会いが今も世界中であたらしい芽を出している。僕らの中でも神戸はなくなるならない。読み返してそんな風に思いました。

ピースボート 山本隆

また、一月一七日がやってきた。あの日から四年、神戸の人達以外の人々が神戸を思い出す日だ。僕の場合はもつとひどくて、今年の一月一七日はロンドンから帰ってくる飛行機の中で新聞を読んで一七日だと言うことを思いだした。二年前はイースター島にいた。僕にとつての阪神大震災は遠いものになってしまっている。それでもぼくにとつての神戸は心の傷であり、帰る場所だ。すでに、四年が経ち僕が震災後とともにした人が二人、死んでいる。一人は一緒に神戸をやった梅ちゃんであり、もう一人は僕のおばあさんだ。震災で死んだのではないが、僕にとつては二人の死が神戸での活動の後の神戸の思い出になってしまっている。でも、死んだ人や心の傷を考えてもしょうがないのだろう。僕は、今生きていて、僕も神戸の人達も今を生きていくしかないから。そんな言い訳を考えながら、僕は一月一七日に日本に帰ってきた。

■「あとがき」にかえて

まず、発行が大幅に遅れてしまったことをお詫びします。ゴメンなさい。(予定は99年1月13日でした)

最初に私が神戸に何故いったかにふれておきたいと思う。

阪神・淡路大震災が起きて四日目、友人達とテレビをみていて、死んだ人の名前ばかり流し続けているマスコミに、変だよネ、これ。

確かに安否も知りたい。でも、他に必要な情報、もっと知らせなければいけないことがあるんじゃないの？

同時に、何か私に出来ることはないかなとばかり然と思っていた。その時、友人(伊藤氏)の一人が印刷機をもっていけば……と、ふともらした一言だった。うん、そうだ印刷機をもって現地に行こう。

そして、一緒にに行けそうな友人達を誘い、私たちだけでは、絶対数も力も足りない。そこで、友人でもあり、お客様でもあるピースポーツに声をかけようとした。

ちょうどピースポーツでも、現地にいつて帰ってきて、何が出来るかを検討している時だった。私が印刷機をもって現地に行きたいから一緒にと提案した。

即決だった。そして、紙・材料とかの手配は私。

車その他の手配はピースポーツで、まさに電光石火。わずか三日で思いつくものを積んで出発したのは24日早朝。人数はといえば何とたったの7人だった。

そして、25日、デイリーニーズ(創刊準備号)は発行された。

95年1月17日、阪神・淡路大震災が起きた。

私は、96年、97年、いやことある毎に、長田を訪れる。そして思うのだ、どこが復興しているのか……。

確かに三宮とか、高速道路、交通網は復活している。ガレキの山もない。だが、仮設住宅を含め、長田区に足をふみいれると復興しているとはとても思えないし、問題はますます深刻になり、視えにくくなっていることを……。

そして、少しでも現地との温度差がなくなればという願いを込めて。

この縮刷版を発行するにあたって、お忙しいなか原稿をお寄せいただいた皆様に紙面をかりて心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

最後に、いまは亡き、梅田隆司君(最初の7人のうちの一人)にこれを捧げます。

あらばき協働印刷

関根みい子

発行 あらばき協働印刷 東京都新宿区大久保 2-32-8 オークボニービル1F
TEL 03-3205-7871 FAX 03-3205-7889

発行日 1999年2月17日
領 価 1000円 (送料・消費税別)
会員価格 500円 (送料・消費税別)

**Daily
Needs**

領 価 1000円 (送料・消費税別)
会員価格 500円 (送料・消費税別)